

## 第2回 海運モーダルシフト推進協議会 議事概要

- ・日 時： 平成30年5月17日(木) 10:00~12:00
- ・場 所： 中央合同庁舎3号館1階共用会議室

### <モーダルシフト船の運航情報等一括情報検索システムについて>

- これまでになかったDoor to Doorでルート検索ができるシステムであるため、これまで海運を利用していなかった企業にとって、使いやすいシステムとなっていると認識。
- 運賃について、実勢運賃は経営・経済環境によって変化していくこと、また、幅を持たせた形での運賃の表示は実態と異なることなどを考慮すると、開示にはなじまないのではないか。
- 利用する側にとっては幅を持たせた形でも目安として運賃が表示されていることで、海運を利用してもらえらるきっかけになるのではないか。
- 海上だけでなくDoor to Doorで運賃を表示できたら良いが、様々な構成要素がある中、どのように表示するかは今後更に検討が必要。
- 運賃の表示は各社の判断という考え方もあるが、利用者側にとって魅力的なシステムにするためにはどのような表示が有効なのか、更なる検討が必要ではないか。
- CO2排出量について、陸路との比較をアピールする観点から、海上輸送と陸上輸送の場合のCO2排出量を対比表示することを検討してはどうか。
- リードタイムに関しては利用する側にとって有効な情報であるが、港での待ち時間は港や船種によって異なることから、表示の方法を更に検討する必要があるのではないか。
- 利用する側にとっては常に最新情報でないという意味がないが、有意義なシステムにするためには、簡易な入力方法も必要ではないか。
- 荷主から新たな輸送ニーズがあるなどの情報があれば、それに対して船会社側から様々な提案ができるため、両者で情報を出し合えるシステムにするべく検討してはどうか。

### <海運モーダルシフト大賞(仮称)制度について>

- 現表彰制度(エコシップ・モーダルシフト優良事業者表彰)ではシェアを基準としているが、絶対量として貨物量が多い企業も表彰の対象としてはどうか。
- 海運モーダルシフトに長期間継続して取り組んでいる企業を表彰の対象とすることも検討が必要ではないか。
- 新たな表彰制度が、モーダルシフトの意義やメリットのPRの強化に資する等の趣旨にするため、大賞の表彰者数について検討が必要ではないか。

以上